

谷津ミュージアム事業推進専門家会議 会議の概要

- 1 会議の名称
令和5年度第1回我孫子市谷津ミュージアム事業推進専門家会議
- 2 開催日時
令和5年7月18日(火) 午後2時から午後4時50分まで
午後2時から午後2時40分 会議
午後3時から午後4時50分 現地視察
- 3 開催場所
手賀沼親水広場水の館3階研修室および岡発戸・都部谷津ミュージアム
- 4 出席委員
浅間 茂委員、谷城 勝弘委員、浅井 芝樹委員
- 5 事務局
嶋田課長 飯泉課長補佐 海老原係長 高橋主任主事
- 6 会議に付した事項等
○委員長・副委員長の選任について
○谷津ミュージアムの維持管理について
○その他
- 7 公開・非公開の別
公開
- 8 傍聴人
0名
- 9 会議の内容
別紙

議事に先立ち、委嘱状の交付等が行われた。

○委員長・副委員長の選出について

令和5年4月1日から新たに専門家委員が委嘱されたことに伴い、委員長・副委員長を選出した。互選により、委員長に浅間委員、副委員長に谷城委員が選出された。

○谷津ミュージアムの維持管理について

発言者	内容
事務局	アメリカザリガニが条件付特定外来生物に指定された。谷津ミュージアム内には数多く繁殖しており、市内小学校の児童に「ザリガニ釣り」体験をしてもらった後、処理をしている状況だが、現行の方法で問題がないか。
浅間委員長	外部に持ち出さず、児童の前で殺処分など行わなければ、特に問題ないと思われる。
事務局	昨年、ホタルを捕獲して谷津ミュージアム外に持ちだす等の事案が散見された。対策として、看板を設置する等も考えられるが、看板を設置することでかえってホタルの生息場所を知られてしまうことも懸念される。また、近年ヤマユリなどの貴重種が捕られるというケースも見られる。このような生き物の捕獲・持ち出し等の防止についてもご助言等をいただきたい。
浅間委員長	ボランティアや専門家委員などが谷津を散策する際、「谷津の生きものを持ち出さない」という考えが伝わるような腕章をつけるなど対策を実施することも考えられる。
浅井委員	看板設置に賛成である。谷津から持ち出すことが、良くないことだと知らない人もいると思う。看板を設置し、地域住民にも周知し、「そういうことをしてはいけない」というアピールをして、周囲の目を増やすことも重要。学校などにも周知した方がよいと思われる。看板の内容についても、目を引く内容にするなど工夫すると良い。
浅間委員長	この谷津は、メダカ・ホタル・アカガエルの3種が生息する貴重な場所である。
谷城委員	看板設置を行い、周知した方がよい。学校にもそういう考えを拡げるのも大事。

○その他

①事務局より報告事項

発言者	内容
事務局	我孫子ゴルフ倶楽部より市に、練習場拡張を企図して、谷津上流部の対象区域内での測量と地質調査を実施したい旨、連絡があった。現時点では、練習場が拡張される範囲やイメージ図は示されておらず、測量と地質調査を踏まえて具体的な計画を作成する見込みとのこと。また、測量と地質調査にあたっては、対象区域内で草刈りや樹木の剪定等が行われる可能性があるとのこと。
浅間委員長	地権者側で測量等を行う意向があるので、止めることはできないと思う。ただし、調査対象区域内の貴重な動植物の記録を作成し、それを我孫子ゴルフ倶楽部にも渡していただきたい。

②委員より提案

発言者	内容
浅間委員長	谷津ミュージアム全体の動植物の目録を作成した方がいいと思われる。近隣市でも立派な資料を作成しており、参考にしながら作成したほうが良いと思われる。事務局で検討していただきたい。
谷城委員	環境の変化等で消滅する種類や新たに参入する種類もあるため種類相の記録を残しておくことはとても重要。

以上